

授業科目	公衆衛生看護方法論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	布花原 明子						
授業概要	実務家教員として行政保健師の経験を活かし、地域を対象とした公衆衛生看護活動の方法と保健師の役割について授業を進めます。保健師は人々の生活の基盤である地域を担当し、地域の人口集団の健康に責任をもって保健師活動を実践しています。授業では、2年生「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」で学んだ保健師活動を地域で効果的に展開するために、担当地域の地域診断と地区活動のPDCA、自治体行政職としての施策化、事業化の機能、ネットワークや地域ケアシステムを構築する活動など、地域を対象とした公衆衛生看護の方法を学びます。授業の前半では、担当地域を設定し地域診断の一部を体験的に理解できるようグループワークで授業を進めていきます。						
授業形態	対面授業	授業方法	講義・グループワーク				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 保健師として地域への責任を自覚し、メンバーと協働し地域の健康課題を解決することへの意欲を高めることができる(DP3-2)。 2. 地域診断の目的と方法、主要なモデルを説明できる(DP1-2)。 3. 既存のデータ源をもとに、地域アセスメント（地域診断）のためのデータ収集、データ分析を実施できる。(DP2-1, 3-2, 4-2)。 4. 地区活動のPDCAを説明できる(DP1-2, 2-1)。 5. 根拠に基づく保健事業の計画と評価を説明できる(DP2-1, 4-2)。 6. 根拠に基づく施策化・事業化のプロセスと保健師の役割を説明できる(DP2-1, 4-2)。 7. 地域ケアシステム構築のプロセスと多職種、他機関との協働・連携および保健師の役割を説明できる(DP2-1, 3-2)。
理想的レベル	標準レベルに加え、地域診断に関する保健医療統計データ（医療費や健診結果など）を検索し理解できる。また、公衆衛生看護活動に関心をもち、関心のあるテーマについてジャーナル等を読み理解を深めることができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	0	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21504J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

授業内容の復習と次回授業の準備	1回の目安時間（時間）
-----------------	-------------

## 授業計画

第1回	地域における保健師の活動指針 地域診断モデル①プリシードプロシードモデル ②コミュニティアズパートナーモデル 事前課題「人口統計の基本と主要な健康指標の意味、算出方法、その動向を説明できる。」の説明 担当：布花原明子
	地域診断-担当地域の情報収集の方法、アセスメントの視点、健康課題の優先順位- e-Stat 基本的操作のオリエンテーション 担当：布花原明子
第3回	地域診断-地域の人口特性、歴史- 担当：布花原明子
第4回	地域診断-地域の人口と世帯の特性- 担当：布花原明子
第5回	地域診断-地域の生活環境 コミュニティアズパートナーモデル（8つのサブシステム）- 担当：布花原明子
第6回	地域診断 地域の保健統計-死亡数・粗死亡率の経年推移及び全国・他地域との比較- 担当：布花原明子
第7回	地域診断 地域の保健統計-男女別年齢調整死亡率の推移及び全国・他地域との比較 担当：布花原明子
第8回	地域診断-発表・意見交換及び振り返り 担当：布花原明子
第9回	公衆衛生看護活動を発展させるための計画・実践・評価 地区活動計画 担当：布花原明子
第10回	地域診断事例を通して地域診断・計画・評価における視点を深める 担当：布花原明子
第11回	自治体の予算の流れと保健事業のPDCA 担当：布花原明子
第12回	北九州市におけるデータヘルスの実際 保健医療福祉における保健師の施策化・事業化の役割 担当：布花原明子、外部講師：北九州市保健福祉局健康増進課 保健師
第13回	国・地方公共団体の保健医療福祉計画 担当：布花原明子
第14回	地域におけるケアシステム構築の発展過程と保健師の役割 担当：布花原明子
第15回	地域アセスメントに基づいた公衆衛生看護活動の方法-個人・家族から集団、地域へ-（まとめ） 担当：布花原明子
テキスト	・ 標美奈子編：標準看護学講座1 公衆衛生看護学概論，医学書院 ・ 中村裕美子編：標準看護学講座2 公衆衛生看護技術，医学書院 「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護技術論」で用いたテキストを使用します。その他、必要な資料は配布します。
参考図書・教材／データベース・	・ 上野昌江編：公衆衛生看護学第3版，中央法規出版 ・ 平野かよこ編：最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論，メガカルフレント社（第1章・2章・6章）

雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金子仁子編：行政看護学、日本看護協会出版会</li> <li>・保健師ジャーナル（医学書院）</li> <li>・政府統計 e-Stat</li> <li>・自治体 HP</li> </ul>
課題に対するフィードバックの方法	<p>受講生全体で共有することが望ましい内容は、授業時にフィードバックする。また個別にコメントをつけて返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>本科目は保健師課程国家試験受験資格取得に必要な知識と技術を修得する科目であるため、「疫学」「公衆衛生看護技術論」「対象別公衆衛生看護活動論」「産業看護論」を履修していることが望ましい。また、授業の前半に実施する地域診断（導入）ではグループ課題も多いため、主体的な学習意欲と態度を期待します。また、公衆衛生看護の専門技術ではありませんが、保健師業務では、エクセル、word は欠かせないリテラシーであるため使えるようになってください。</p>

